

鹿児島市内圃場【サツマイモ】編

■試験の目的

本試験は、鹿児島県における基幹作物であるサツマイモを対象に、下水汚泥肥料を活用した施肥体系の確立を目的とし、窒素供給特性およびカリウム補給効果が生育、収量および品質に与える影響について検証する。

■試験方法

鹿児島市内の圃場において、区画を設定し、施肥試験を実施する。

区分	肥料構成	特徴
区分1	下水汚泥肥料+化学肥料	基肥に下水汚泥肥料と化学肥料を併用し、不足するカリウム分を化学肥料で補給

■施肥設計

試験区分	基		肥 (kg/10a)					合計 (kg/10a)				
	肥料名	施用量	成分量					成分量				
			窒素	りん酸	カリ	カルシウム	マグネシウム	窒素	りん酸	カリ	カルシウム	マグネシウム
区分1	えいさつまいも配合	20	1.0	3.0	3.0			3.0	10.4	10.4	13.0	1.8
	マグマソイル	200	2.0	7.4	0.4	13.0	1.8					
	硫酸加里	14			7.0							
※ 全窒素のうち、アンモニア態窒素1%のみを有効とし、窒素施肥量とする。												

区分1：基肥において、化学肥料（えいさつまいも配合肥料）と下水汚泥肥料を併用し、慣行栽培と同程度の窒素施用量になるよう調整する。なお、不足するカリウム分は、硫酸加里により補給する。

■試験期間

令和8年5月～令和8年10月

【鹿児島市内の圃場での取り組み】

鹿児島市内の小学校の一部では、教育活動の一環としてサツマイモ栽培が行われています。本試験は、そのうち1校の協力を得て実施するものであり、鹿児島市水道局として初の取組です。

本試験では、10aの圃場においてサツマイモを対象とした施肥試験を実施します。使用する下水汚泥肥料は鹿児島県の施用ガイドライン（10aあたり500kg）を遵守し、安全性および肥効の両面から評価を行います。

さらに、本試験を通じて得られた知見をもとに、サツマイモ栽培における下水汚泥肥料の実用的な施肥技術の確立および地域内での利用拡大を目指します。

今後は、生育状況および収量・品質への影響について調査を行い、他作物への応用可能性についても検討していきます。